

# はまぼうふう vol.40 2011. 8. 10.

## 石狩浜海浜植物保護センター通信

HP 上ではカラーでご覧になれます

### 草原の隠れた主役

7/31（日）、海辺の風景再発見事業の一環として、市民参加型自然環境調査「海辺の草原生き物調査隊」を開催しました。

今回の調査では、石狩砂丘にクラスノズミ類に注目し、海岸林、海岸草原、砂丘部、人工草地に罠をしかけ、生息の状況を調べました。

結果は、2種類のノズミ、1種類のトガリネズミ（モグラの仲間。以下トガリ）が捕まりました。ノズミは、エゾヤチネズミ（以下ヤチ）が5頭、アカネズミ（以下アカ）が1頭でした。

海岸林では、ヤチ、アカ、トガリ1個体ずつ、海岸草原では捕獲4個体したすべてがヤチでした。

林、草原など環境に応じて生息する種類に違いがあること、また、海岸草原のハマナス群落には、かなりの密度でヤチが生息していることが推測されました。

エゾヤチネズミは、植物の葉や種子、昆虫を餌にして暮らし、時にハマナスの果肉を食べて中の種子発芽を促します。また、絶滅危惧種のチュウヒやハヤブサなどの猛禽類の餌としても、生態系の中で重要な役割を果たしています。

ふだん目にする事のないノズミ類ですが、石狩砂丘の食物連鎖をつなぐ隠れた主役です。

（海辺の草原生き物調査隊は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました）



エゾヤチネズミ  
（捕獲場所：海岸草原・海岸林）



アカネズミ  
（捕獲場所：海岸林）



エソトガリネズミ  
（捕獲場所：海岸林）

## 石狩浜関係のイベント・活動情報

(4 ページ)

- 8/27（土）ハマナスのジャム作り&クラフト教室
- 9/3（土）いしかり再発見！秋の石狩浜を歩く
- 9/10（土）石狩浜 渡り鳥と秋の草花観察会
- 9/16（金）いしかり館めぐりツアー
- 10/1（土）自然教室「砂で作ろう、砂を学ぼう～砂絵と砂時計づくりに挑戦～」
- 10/8（土）藤花祭協賛 藤女子大学人間生活学部 公開講座「石狩浜の自然と保全～保護と活用」
- 10/21（金）はまなすの丘景観保全作業

## トピック

(2 ページ)

被災地の海辺を訪れる  
ふるさと海辺フォーラム 2011 in 名取

## 被災地の海辺を訪れる ふるさと海辺フォーラム2011 in名取

日本中で急速に失われている海辺の自然。自然豊かな海辺環境を次世代へのこしていくために、私たちに何ができるのでしょうか。昨年、石狩市で開催した「ふるさと海辺フォーラム」が、今年は、東日本大震災の被災地である宮城県名取市で、6月18日（土）、19日（日）名取ハマボウフウの会主催により開催されました。各地で海辺の保全活動に取り組む人たちが集まり、名取ハマボウフウの会の復興を祈念するとともに、海辺の環境保全の大切さを全国に発信しました。

■集まった団体は、以下の12団体。

きたねむろ山菜エコランド（北海道中標津町）・石狩浜海浜植物保護センター・石狩浜定期観察の会（石狩市）・横浜町ホテルの里（青森県横浜町）・おいらせ観光協会（青森県おいらせ町）・秋田県秋田市市議・七が宿水守人の会（宮城県七が宿町）・セヶ浜ハマボウフウの会（宮城県セヶ浜町）・名取ハマボウフウの会（宮城県名取市）・かしま観光協会（福島県南相馬市）・寺泊観光協会（新潟県長岡市）・NPO法人ゆい（神奈川県茅ヶ崎市）・サンクチュアリエヌピーオー（静岡県浜松市）

■1日目は、基調講演「名取の海岸の歴史」（名取市自然と地域のふれあい活動推進委員会委員長菊地氏）、各地の活動報告会、懇親会により、情報交換を行い、交流を深めました。



フォーラム会場のようす

■2日目は、関上海岸で、津波で流された名取ハマボウフウの会「ハマボウフウ保護区」の立て看板を再設置。亡くなられた方への鎮魂と会の復興を祈念して、盛大な関上太鼓の演奏があり、ハマボウフウの幼苗の移植を行いました。



海浜植物保護区に復活した看板



津波でなぎ倒され、赤茶けた海岸林の松林



津波に襲われた海岸で、今は青々と葉を茂らせ花を咲かせるハマボウフウ



津波に襲われた海岸で、鮮やかに花を咲かせるハマヒルガオ。背後は壊滅的な海岸林



海浜植物保護区での関上太鼓

■午後からのシンポジウムでは、「海岸の未来と市民活動」と題し、石狩、湘南（神奈川）、浜松（静岡）、名取（宮城）での市民活動事例を報告。パネルディスカッションでは、「子どもたちの遊べる浜を再生していきたい」、「大規模風車の建設が浮上している地域もあるが、海浜の自然環境をこれ以上破壊すべきではない。」「自然海浜には防災機能がある。これを考慮した海浜の復興復旧を。」といった意見が交わされました。

ハマボウフウをシンボルに、各地の海辺の自然環境保全が進めるネットワークが広がり、「生き物あふれる子どもが遊べる海岸づくり」の輪が各地に広がることが期待されました。(海浜植物保護センター 内藤華子)

### 「がんばれ名取・七ヶ浜義援金」ご協力のお礼

石狩浜海浜植物保護センター活動支援ボランティアグループの「石狩浜定期観察の会」と「ふるさと自然塾」の有志で集めた義援金34,805円は、6月14日、名取ハマボウフウの会へ送金し、名取の会代表の大橋さんの采配で名取と七ヶ浜の両会で折半して活用することになりました。

募金は5/29に札幌で開催された、保護センター主催「海辺の風景再発見フォーラム」会場に設置された名取・七ヶ浜の被災の様子がハマボウフウの会の活動の様子を伝える展示コーナーで行いました。石狩では、「石狩浜定期観察の会」と「いしかり海辺ファンクラブ」の活動の際に、参加者から募りました。

ご協力いただいた多くの札幌市民の皆さん、石狩の仲間達に、この場をお借りしてお礼申し上げます。また、名取・七ヶ浜ハマボウフウの会の皆さんがお元気で活動を再開されますことをお祈り申し上げます。(有志代表 安田秀子)



5/29 海辺の風景再発見フォーラムでの被災団体復興支援パネル展の様子

### 最近の活動

#### 海辺の風景再発見の旅

**6月25日(土)** 海辺の風景再発見事業の一環で、石狩浜の自然の魅力ポイントをバスで巡る自然観察会。案内は、当センターのほか、札幌市博物館活動センター、小樽市総合博物館、いしかり砂丘の風資料館の学芸員。志美北三線では、石狩海岸の砂丘地形とその上に成立する砂丘植生の成帯構造(ゾナーション)を観察。石狩川灯台周辺では、ハマナスやハマヒルガオなど海浜植物群落を観察、石狩川河口右岸では、シップ原生花園の色鮮やかな花が彩る風景を楽しみ、砂浜では、イソコモリグモなど、海浜性昆虫を観察しました。参加者36名。



#### 石狩浜自然案内人養成講座

**7月16日(土)** 石狩浜の自然の魅力を伝えるスキルを身につける、講習会。これまで自然案内人として活動してきたメンバーに、新たに7名を迎えての開催となりました。センターの展示・観察園の案内、海辺の素材を用いたクラフトの体験、ネイチャーゲームや砂の成分調

べなど、盛りだくさんのプログラムをこなしました。

受講者の多くが、今後も石狩浜自然案内人としての活動にたくことになり、活動がパワーアップすること間違いなしです!



#### 海辺の草原生き物調査隊

**7月31日(日)** 1ページ参照。詳細の報告は次号で。参加者36名。

#### 海辺の草木染め教室

**8月4日(木)** ハマナスの根、葉、ハマニンニクの葉を煮詰めた染液で、絞り模様を作ったり豆乳で絵を描いて、ハンカチやシルクのストールを染めました。スタッフも参加者も和気あいあいと取り組み、自然の生み出す色の美しさをみなで楽しみました。



2011.8.10.

## 参加者募集

### 海浜植物保護センター主催事業

#### ハマナスのジャム作り&クラフト教室

ハマナスの実を摘んでジャムを作ります。また、海辺の素材でクラフト遊びや、ネイチャーゲームで楽しく海辺の自然を学び触れ合います。

日時：**8月27日(土)** 10:00~15:00

集合：9時30分石狩市役所

または9時50分海浜植物保護センター

対象：小学生以上(3年生以下保護者同伴) 定員：20名(先着順)

参加費：高校生以上300円 中学生以下100円

持ち物：昼食・筆記用具・帽子・タオル・軍手・小さいスプーン(卵取り用)・果物ナイフ(大人のみ)

申込締切：8/25(木) 申込先：海浜植物保護センター

#### 石狩浜 渡り鳥と秋の草花観察会

シギ・チドリなど水辺の鳥や、ウンラン、ハマニガナなどの秋を彩る海浜植物を観察しながら、石狩川河口を散策します。

日時：**9月10日(土)** 9:00~12:00

集合：8時より石狩市内を無料送迎バスで巡回します。(ご利用希望の方は、申込時に乗車場所をご確認ください。)または、9時分海浜植物保護センター

対象：小学4年生以上(小学生保護者同伴) 定員：30名(先着順)

参加費：高校生以上300円 中学生以下100円

持ち物：筆記用具・動きやすい服装、お持ちの方は双眼鏡(貸し出しもあり)

申込締切：バス利用の方9/4(日) 保護センター集合の夜8

申込先：石狩地区地域防災施設(川の博物館)(tel.64-2507)

#### 自然教室「砂で作ろう、砂を学ぼう～砂絵と砂時計づくりに挑戦～」

砂鉄集め、砂と砂丘の自然観察、砂時計と砂絵づくりなど、砂をテーマに遊びながら学びます。

日時：**10月1日(土)** 10:00~15:00

集合：9時30分石狩市役所または9時50分海浜植物保護センター

対象：小学生以上(3年生以下保護者同伴) 定員：20名(先着順)

参加費：高校生以上300円 中学生以下100円

持ち物：昼食・筆記用具・動きやすい服装・作品持ち帰り用のビニル袋

申込締切：9/28(水) 申込先：海浜植物保護センター

#### はまなすの丘景観保全作業

石狩灯台周辺の景観を維持するため、外来植物や増えている内陸性植物を除去するボランティア活動です。

日時：**10月21日(金)** 10:00~12:00

持ち物：軍手、お持ちの方はクワ、スコップ、手ノコ、剪定ばさみ

申込締切：10/19(水) 申込先：海浜植物保護センター

### 協力・共催事業

#### いしかり再発見！ 秋の石狩浜を歩く

海辺特有の動植物が豊かに残された石狩浜を、いしかり海辺ファンクラブのメンバーの案内で巡り、魅力を発見します。(ルート：はまなすの丘公園散策、海浜植物保護センター・砂丘の風資料館の見学)

日時：**9月3日(土)** 10:00~14:30

集合：9時50分海浜植物保護センター

定員：20名(小学生以下は保護者同伴)

参加費：300円 昼食は各自ご用意ください。

主催：いしかり海辺ファンクラブ

申込締切：8/31(水) 申込先：海浜植物保護センター

#### いしかり館めぐりツアー

石狩市民図書館、海浜植物保護センター、いしかり砂丘の風資料館をバスで巡り、「館」を拠点とした新たな石狩を発見します。長野商店(いしかり砂丘の風資料館隣接)内で昼食会を予定。

日時：**9月16日(金)** 10:00~15:00

集合：10:00 石狩市公民館(花川北6-1-24)

参加費：1000円(昼食代など)

定員：20名(多数時抽選) 主催：いしかり館ネットワーク

詳細問合せ・申込先：石狩市民図書館(tel.72-2000)

#### 藤花祭協賛 藤女子大学人間生活学部公開講座

##### 「石狩海岸の自然と保全～保護と活用～」

- 1.石狩海岸の自然の稀少性と保全
- 2.歴史的視点からみた石狩浜の魅力
- 3.市民活動「いしかり海辺ファンクラブ」の活動をテーマに、映像とパネルディスカッションで石狩浜の魅力を語ります。

日時：**10月8日(土)** 10:30~12:30

会場：藤女子大学花川キャンパス 273教室

問合せ・申込み

4/29~11/3:石狩浜海浜植物保護センター

〒061-3372 石狩市弁天町48-1

tel.0133(60)6107(火曜休館・休館日は以下へ)

11/4~4/28:石狩市役所市民生活部環境室内

〒061-329 石狩市花川北6条1丁目30-2

tel.0133(72)3240

email. [ihama@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp)

HP: <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>